

地域共生のまちづくりへの バリアフリーマップ作成と 地域在住高齢者との健康増 進に向けた実践的取り組み

車いす街歩きと高齢者との交流イベント
Season2

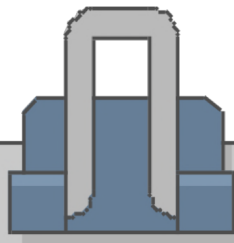


2025年7月

目次

1. はしがき・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2. 集会所での高齢者との運動実践報告書・・・・ 3
3. WheeLog! 報告書・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
4. あとがき・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
5. 作成・編集者一覧・・・・・・・・・・・・・・・・ 35





はしがき

作業療法と社会福祉、2つの専門職が連携した職種間連携教育は今年で5年目を迎えた。前年に引き続き、今回も「地域共生」と「健康増進」をテーマに掲げ、「車いす街歩き」と「高齢者との交流イベント」を実施した。本冊子はその第2期活動報告である。

「車いす街歩き」では、「WheeLog!」というアプリを使って実際に街を走行した。このアプリは4月にリニューアルされたばかりであり、この活動体験を通して、バリアフリーの重要性を深く理解した。地域共生のまちづくりについて考察し、車いすユーザーにとって本当に使いやすいバリアフリーマップの作成を目指した。

「高齢者との交流イベント」では、毎週地域の集会所を訪問し、「いきいき百歳体操」の見学体験後に、学生が企画準備してきたレクリエーション活動を展開した。この学生主導によるイベントを高齢者の方々もとても楽しみにされていたことが印象に残る。

ところで、これらの実践は活動しっぱなしで終わるのではなく、しっかりと振り返りを行い、報告書に仕上げてLINEのオープンチャット内で全体共有を図った。それらを1つにまとめて本冊子は出来上がったのである。

約半年間、学生は地域社会と積極的に関わり、主体的に学びを深めた。車いすユーザーや高齢者の立場を共感するだけでなく、地域における課題解決に向けての道筋をそれぞれの専門性の差異を手がかりに認識を新たにすることができた。学生たちのこの貴重な体験は、地域福祉がめざす地域共生社会の実現に必ず役立てられるであろう。

最後に、今回も職種間連携教育の機会を設けてくださった赤堀将孝先生に心より感謝申し上げる。地域課題解決に向けたこの連携の輪を、今後も大切に育んでいきたい。

2025年7月 両校を代表して
谷 川 和 昭

運動実践報告書 & WheeLog! 報告書

報告書の説明

◎報告書は大きく2種類あります。

一つは宮前町集会所にて、いきいき百歳体操参加者の皆様のご協力のもと、運動やレクリエーションを実践した結果の報告書です。

もう一つは、車椅子に乗り、赤穂市内をWheeLog!アプリを起動して探索した、バリアフリーマップの作成に向けた報告書です。

◎報告書内容についてご覧いただき、ご意見をいただけると幸いです。

◎この報告書についてのご不明な点は、35ページの各校の担当にお問い合わせください。

【高齢者とのレクリエーション】

2025年度は全4回

- ・ 5月27日：1班
(活動内容 ボッチャ)
- ・ 6月 3日：2班
(活動内容 新聞紙足踏み・ちぎり)
- ・ 6月10日：3班
(活動内容 ラダーゲッター)
- ・ 6月17日：4班
(活動内容 風船バレー
ジェスチャーゲーム)



宮前町集会所－はくほう会医療専門学校赤穂校：450m

活動レポート

作成日：2025年 5月27日

報告者：小西・三宅・北原・藤本・朝倉・山下・吉井

○ 活動種別（どちらかに○）

高齢者とのレクリエーション

WheeLog!

実施内容の概要

いきいき100歳体操
ボッチャ

○ 本日用べき課題完了度

順調

やや遅延
あり

遅延

○ 取り組みのスケジュールと経験した内容、取り組み風景（写真添付）

↓ ルール説明 ↓



的を狙って得点を競うルールと
白いボールに近い方が勝ちの
2つのルールで行いました

↓ ゲーム本番 ↓



↓ 練習タイム ↓



拍手や笑顔も
たくさん
見られました○



◎ 当日のレクスケジュール

- ①14:30~14:35 自己紹介、導入、チーム分け
- ②14:35~14:40 ルール説明1、練習タイム
- ③14:40~14:50 本番1
- ④14:50~15:00 ルール説明2、本番2

○ メモ・感想

高齢者の方々が暖かく迎え入れてくださり、和やかな雰囲気で行うことができました。
約30分弱の体操の後でのレクでしたが、積極的に参加していただけたかなと思います。
レクは分担した役割を中心に準備・説明・参加者のフォロー・カメラ撮影などそれぞれが協力し、時間も3時頃終了でスムーズに進められました。ボッチャは実際の経験はないがテレビで見たことがある方も多く、ルール説明なども伝わりやすかったように思います。経験のない方が多かったのでいきなり本番ではなく、先にフリーで数分練習をしてから本番という流れが良かったと感じました。最後に1回だけ高齢者チームvs学生チームをしましたがとても盛り上がりがありました。高齢者の方々だけではなく学生側も一緒になって楽しんで参加できると良い雰囲気になりやすく、高齢者の方々にとっても良い時間となるのではないかなと感じました。

活動レポート

作成日：2025年6月3日

報告者：大西・鵜鷹・山本・亀井・田淵・金谷

○ 活動種別（どちらかに○）

高齢者とのレクリエーション

WheeLog!

実施内容の概要

- ・いきいき100歳体操
- ・新聞紙足踏み
- ・新聞紙ちぎり

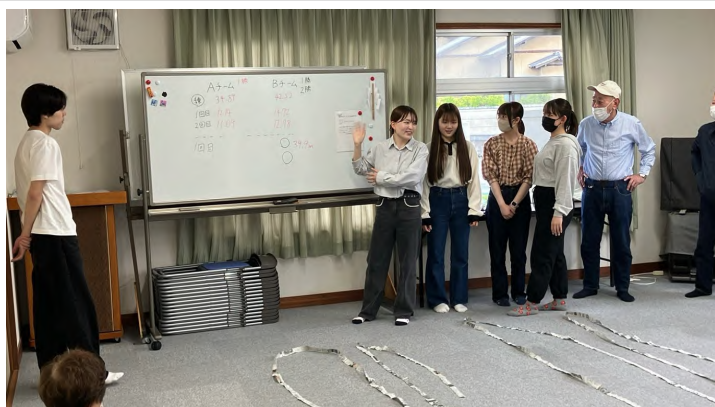
○ 本日用べき課題完了度

順調

やや遅延
あり

遅延

○ 取り組みのスケジュールと経験した内容、取り組み風景（写真添付）



ルール説明を行ったから安全性を確かめてから競技を行った。頭と体を使ったため、あらかじめの説明が必要だと思った。

レクリエーション中はたくさんの笑顔が見られました。



○ メモ・感想

感想

ゲームの進行が実際に行って順調に進められなかったため、次同じ様な活動があれば綿密な計画を立てて、自分たちで行ってからレクリエーションをスムーズに行っていけるようにしていきたいです。



活動レポート

作成日：2025年6月10日

報告者：苔縄,野崎,上森,宇野,川本,島田（島田欠席）

○ 活動種別（どちらかに○）

高齢者とのレクリエーション

WheeLog!

実施内容の概要

いきいき百歳体操
ラダーゲッター

○ 本日举行べき課題完了度

順調

やや遅延
あり

遅延

○ 取り組みのスケジュールと経験した内容、取り組み風景（写真添付）



- ①個人練習（1人3投程度）
- ②2チームに分かれて2ゲーム
- ③学生チーム対高齢者チーム

高得点が入ると盛り上がり、応援の声も上がるなど良い雰囲気が進んだ。

ラダーゲッターとは、
ひもでつながっている2個のボールを
ラダー（はしご）に向かって投げ、
ボールがラダーに引っかかると得点
になるレクリエーション。
得点は、ラダー上から3点、2点、1点。
床に跳ね返って引っかかると5点。

今回は公式ルールよりも近い距離から
投げてもらった。



○ メモ・感想

感想

打ち合わせの段階では難易度が高いと感じていたため、楽しんでもらえるか不安があったが、予想以上にコツをつかむのが早い方が多く非常に盛り上がった。

中には、どのように投げたらうまく引っかかるか、など考えながら真剣に取り組んでくださる方もおり、嬉しく思った。目標としていた、頭も体も使って楽しんでもらうという点についても達成できたのではないかなと思う。

活動レポート

作成日：2025年6月17日

報告者：長井、野田、瀧尻、角、桑田、三山

○ 活動種別（どちらかに○）

高齢者とのレクリエーション

WheeLog!

実施内容の概要

- ・いきいき100歳体操
- ・風船バレー
- ・ジェスチャーゲーム

○ 本日行うべき課題完了度

順調

やや遅延
あり

遅延

○ 取り組みのスケジュールと経験した内容、取り組み風景（写真添付）



風船バレーの様子。実施前に自己紹介を行なった後、コートをついて風船バレーを行った。実施前は運動がどれくらいできるか不安であったが、いざ始めると予想以上に風船を追いかけてくれた。最後まで同点の白熱した試合になり、かなりの運動になったので給水の時間を設けて休む事になった。



ジェスチャーゲームの様子。画像ではワニや将棋のジェスチャー行っている。お題をある程度分かり易く工夫し、テンポ良く行えるようにした。しかしやや過剰に作用し、すぐにお題を当てられてしまう事が頻発した。その為、途中からお題をその場で捻出する事態になってしまったのは、予想外の出来事だった。そうした中でも風船バレー、ジェスチャーゲーム共に、学生と高齢者が声を出しあって自然に楽しむ事ができた。

○ メモ・感想

感想

高齢者の参加者から「楽しかったのでレクリエーションをこれからも続けて欲しい」と言ってもらえたことが、今日の一番嬉しかった出来事であった。積極的な参加をしてもらえて、お互いに楽しむ事ができたんだなと実感を得られた事で、これからのレクリエーションにもポジティブに挑む事ができると考える。今回行ったレクリエーションは風船バレー、ジェスチャーゲームであったがその他の案も出ていたので、今回の経験を生かしてそれらにも挑戦していきたい。



参加者の皆さんとの記念撮影。



風船バレーとジェスチャーゲームの間に参加者の方から水の差し入れがあった。当日は気温も高く、運動を行ったので熱中症対策としてもありがたいお気遣いをいただいた。



公民館の前にある公園で記念撮影。

【車いす街歩き：WheeLog!】

5月27日

：WheeLog!アプリを起動した車いす街歩き

6月 3日

：雨天のため大学内での活動

6月10日

：雨天のため大学内での活動

6月17日

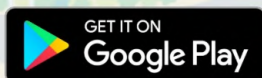
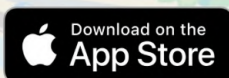
：WheeLog!アプリを起動した車いす街歩き

○WheeLog!の紹介

車いすでもあきらめない世界をつくる

WheeLog!

みんなでつくるバリアフリーマップ



<https://wheelog.com/hp/>

詳細
はこちら



○各班の報告ページ

1 班 p.10-15

2 班 p.16-21

3 班 p.22-27

4 班 p.28-33

活動レポート

作成日：2025年 6月3日

報告者：小西・三宅・北原・藤本・朝倉・山下・吉井

○ 活動種別（どちらかに○）

高齢者とのレクリエーション

WheeLog!

実施内容の概要

○ 本日用べき課題完了度

順調

やや遅延
あり

遅延

※雨のため

○ 取り組みのスケジュールと経験した内容、取り組み風景（写真添付）

目的地：関西福祉大学 図書館

走行時間：64分

食堂の段差↓



車椅子を上げるのに苦労した



←食堂のトイレ

狭くて方向転換も大変で
使いにくかった
手洗い場も小さかった



3階のトイレ→
車椅子でも広くて使いやすい
電気もスイッチではなく自動で付く

←看護棟のエレベーター

1号館2号館のエレベーターは
車椅子が1台のみしか入れなかつたが看護棟のエレベーターは
2台入ることができる



○ メモ・感想

感想

段差などの障害物がある場所で車椅子に乗っている人がストレスを感じないように安全に走行することを心がけた。

食堂や自動販売機など買い物をするときにボタンや棚が高く感じた。エレベーターの数が少なく感じた。

車椅子用のトイレが多かった。トイレは使いやすいところと使いにくいところの差が大きかった。点字ブロック、トイレ、入り口の段差など、細かいところに配慮してこだわって作られているように感じた。

点字ブロックなどの段差は車椅子に乗っている側からすると少し怖かった。

○ 走行ログ・活動の記録

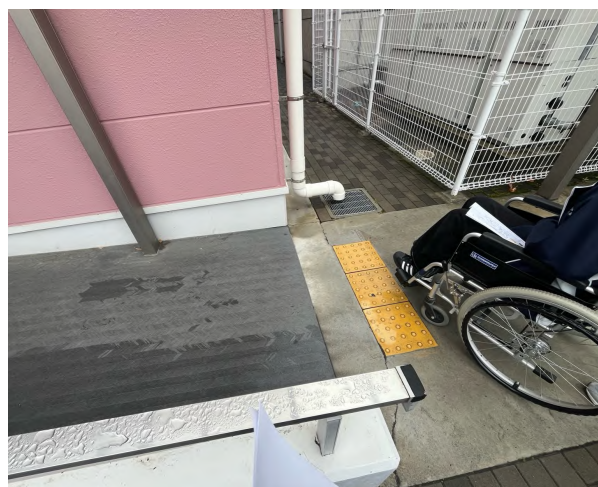


自走式

1190m 64分



自動販売機のボタンが下であり
車椅子でも押すことができる



体育館の入り口にはスロープがあり
車椅子でも入ることができる

活動レポート

作成日：2025年 6月10日

報告者：小西・三宅・北原・藤本・朝倉・山下・吉井

○ 活動種別（どちらかに○）

高齢者とのレクリエーション

WheeLog!

実施内容の概要

○ 本日用べき課題完了度

順調

やや遅延
あり

遅延

※雨のため

○ 取り組みのスケジュールと経験した内容、取り組み風景（写真添付）

目的地：関西福祉大学内

走行時間：35分

↓食堂の段差

段差が大きく、かなり力
を入れなければ車椅子が
持ち上がらず入りにく
い。

出る時は段差の大きさ故
車椅子利用者への衝撃が
大きい



↑2号館の自販機

飲み物を購入するボタンが下部に
着いており、手が届かない場所の
飲み物も購入がしやすい。また、
自由扉の為取り出し口にてを挟む
心配がなく飲み物を取り出しやすい。



↑体育館スロープの段差

ひび割れにより段差が発生している
ため、一人で走行する際車輪が引
っかかりやすくより多くの力を要
する。それ以外はスロープの角度
も適切であり一人での走行も可
能である。

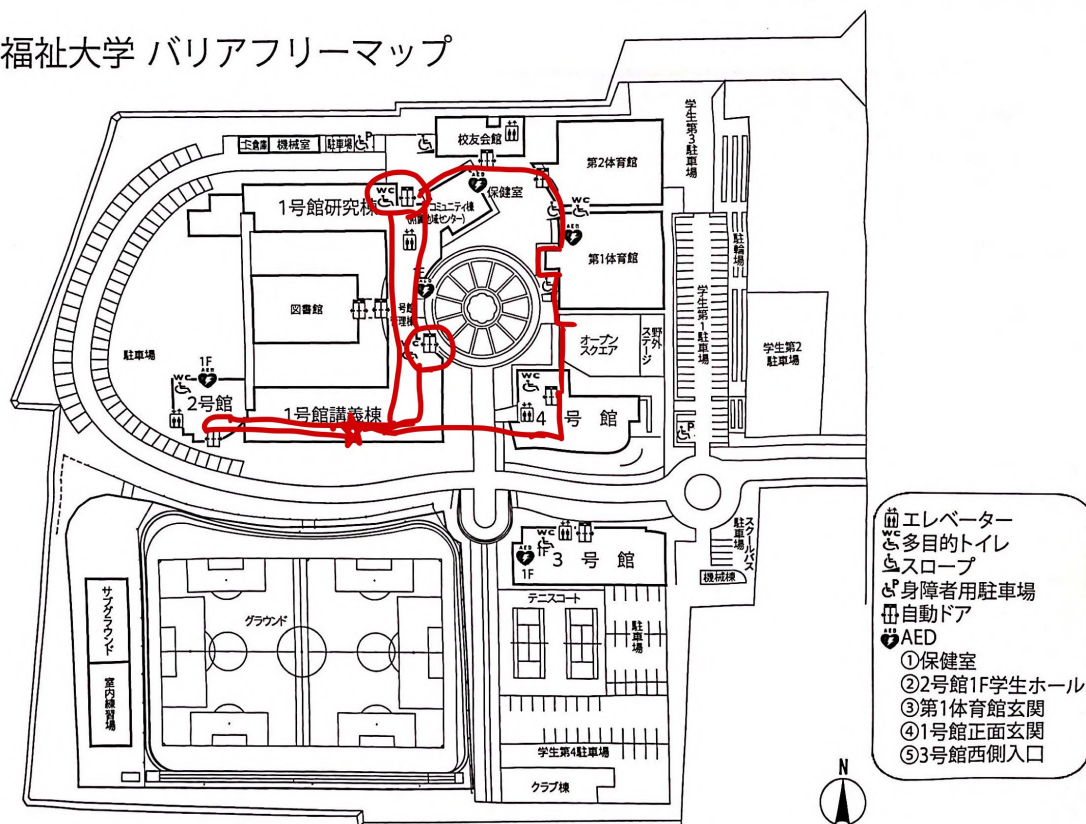
○ メモ・感想

感想

手が届く範囲に限られており、かなり活動が制限されると感じた。
トイレは手洗い場の大きさが小さいものが多く、洗うのに苦労し
そうだった。
自動販売機がスマートフォンを活用することによって手が届かない
人にも簡単に使用することができると感じた。

○ 走行ログ・活動の記録

関西福祉大学 バリアフリーマップ



活動レポート

作成日：2025年 6月17日

報告者：小西・三宅・北原・藤本・朝倉・山下・吉井

○ 活動種別（どちらかに○）

高齢者とのレクリエーション

WheeLog!

実施内容の概要

○ 本日用べき課題完了度

順調

やや遅延
あり

遅延

○ 取り組みのスケジュールと経験した内容、取り組み風景（写真添付）

目的地：赤穂市立歴史博物館

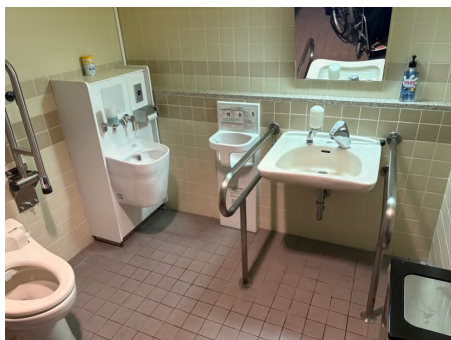
走行時間：115分

↓赤穂市立歴史博物館の入り口



博物館入口のスロープを自力で進もうと思ったら、段差に気づかなくて自走では登れなかった

↓赤穂市立歴史博物館内のトイレ



広さも広く、オストメイトも設置してあり車椅子でも使用しやすそうだった

↓道中の様子



○ メモ・感想

感想

歩道から車道に移るときの段差が大きくボコボコしているところがあり、ひっかかったり振動が大きかった。

博物館の中のトイレは車椅子が回転できて介助者も入れる広さで、すごく充実もしていたのでいいなと思った。

少しの数センチの段差でも、車椅子使用者にとって大きな障害になるので、非常に苦労するなと思った。

歴史博物館はオストメイトも付いていて使いやすそうだった。トイレのドアの開閉はボタンも大きくて使いやすそうだった。

○ 走行ログ・活動の記録



活動レポート

作成日：2025年5月29日

報告者：大西・鵜鷹・山本・亀井・田淵・金谷

○ 活動種別（どちらかに○）

高齢者とのレクリエーション

WheelLog!

実施内容の概要

○ 本日用べき課題完了度

順調

やや遅延
あり

遅延

○ 取り組みのスケジュールと経験した内容、取り組み風景（写真添付）

目的地：赤穂自動車教習所

走行時間：55分



・坂道

斜面に沿って進んでしまうため危険だった。
坂を下る時は前から行くと危なかったため
方向転換して後ろ向きに進んだ。



・ガイドポスト

車道と歩道の境目がガイド
ポストだけなので自動
車と接触する恐れがあっ
た。



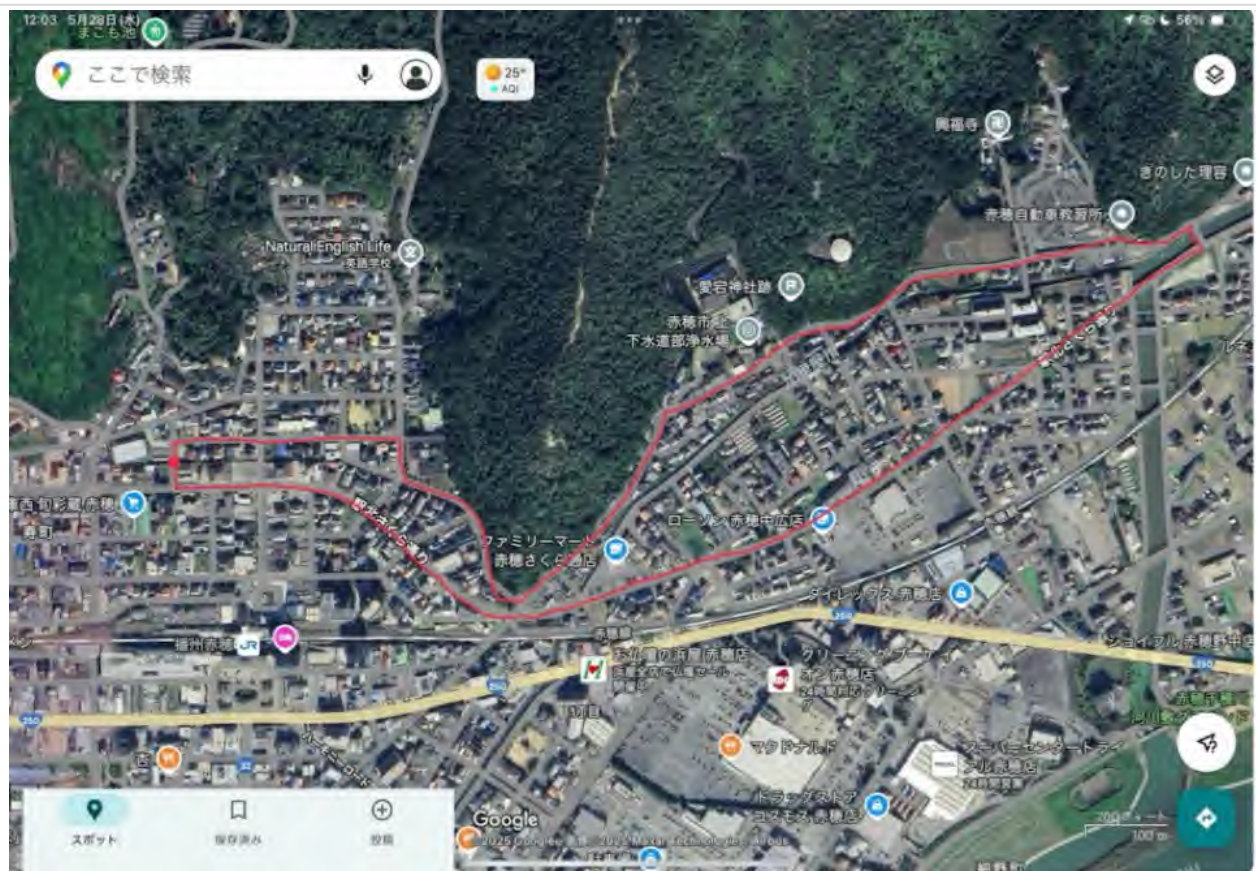
・車椅子の前輪が小さいため
溝にはまることがあった。

○ メモ・感想

感想

- ・ 普段通る場所でも車椅子で通ると危険に感じるが多かった。
- ・ 今回通ったルートは坂道が多かったため車椅子が自走するには困難だと考えた。
- ・ ブレーキがないタイプの車椅子を使用したため操作が難しかった。

○ 走行ログ・活動の記録



活動レポート

作成日：2025年6月10日

報告者：大西・鵜鷹・山本・亀井・田淵・金谷

○ 活動種別（どちらかに○）

高齢者とのレクリエーション

WheelLog!

実施内容の概要

○ 本日用べき課題完了度

順調

やや遅延
あり

遅延

○ 取り組みのスケジュールと経験した内容、取り組み風景（写真添付）

目的地：コミュニティホール

走行時間：20分ほど



まずコミュニティホール、次に食堂までいき教室に戻りました。その際に廊下の広さやエレベーターの広さ床のガタガタ具合を見ました。



点字ブロックの上を通る際に車椅子に乗っている人に報告をしないと危険に感じた。

○ メモ・感想

感想

角が見つらなくて人と当たりそうで怖かったです。
道は広く車椅子2台通れるので危険性は少ないと思いました。

○ 走行ログ・活動の記録

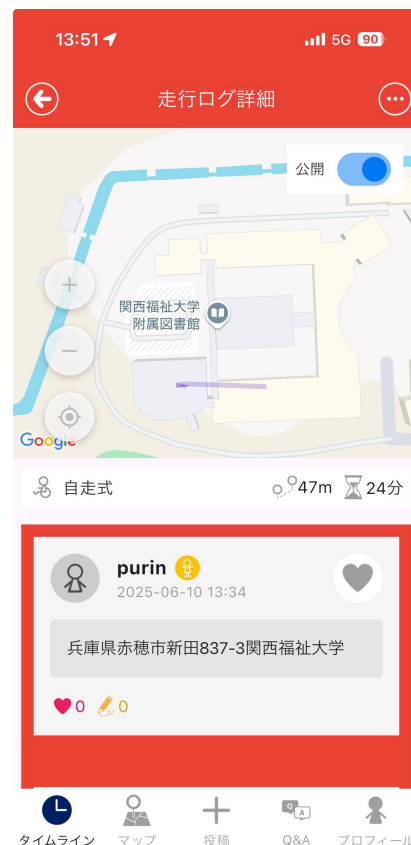
エレベーターは車椅子二台と人が4人入り、
まだ一人分の余裕がありました。



コミュニティーホールのエレベーター
は車椅子二台で人1人の余裕がありまし
たが、きつめでした。



売店の一番上の棚は工夫しても届きませんでした。
券売機は工夫をすれば届きますが、普通にすれば
半分程しか届きませんでした。



活動レポート

作成日：2025年6月17日

報告者：大西・鵜鷹・山本・亀井・田淵・金谷

○ 活動種別（どちらかに○）

高齢者とのレクリエーション

WheeLog!

実施内容の概要

○ 本日用べき課題完了度

順調

やや遅延
あり

遅延

○ 取り組みのスケジュールと経験した内容、取り組み風景（写真添付）

目的地：ルフレ

走行時間：2時間

まず専門から赤穂大石神社前まで行きました。
神社前の道路を西へ直進してルフレへ向かいました。



エレベーターは横向きで2台入りました。

車の通りが多くてすれ違うのは
危ないなと感じました→



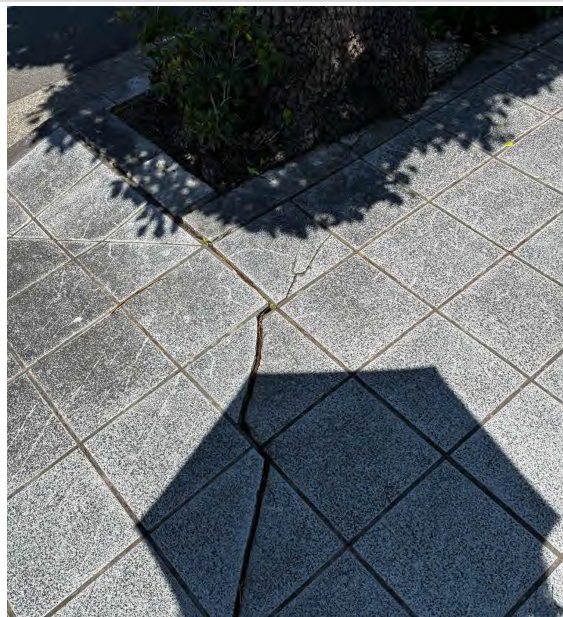
○ メモ・感想

感想

歩道に生えている草とかも飛び出ていると当たるので危ないと感じました。車椅子に乗っていると、小さい段差などでも揺れが大きく、押す人は注意しながら押すべきだと思いました。

○ 走行ログ・活動の記録

歩道の地面のタイルがもり上がっていて危なかったです。



横断歩道を渡るとき、歩道と道路の段差が車椅子に乗っていると、かなり揺れてしんどいと感じました。



ルフレの段差が高かったので少し苦戦しました。



活動レポート

作成日：2025年5月29日
報告者：苔縄・川本・宇野・島田・上森・野崎

○ 活動種別（どちらかに○）

高齢者とのレクリエーション

WheeLog!

実施内容の概要

○ 本日用べき課題完了度

順調

やや遅延
あり

遅延

○ 取り組みのスケジュールと経験した内容、取り組み風景（写真添付）

目的地：ユニクロ

走行時間：55分



線路の溝や線路前の凹凸により、
前輪がはまり、進みづらい



↑橋の前にある段差により
転倒する恐れあり



警察署の前の歩道に黒い部分があり、
これは舗装の劣化による影響で段差が
生じて進みづらい

○ メモ・感想

感想

ユニクロに向かう行きの際に線路前の凹凸で進みづらいと感じた。
また、線路の溝に車椅子の前輪がはまってしまい、危なく抜きにく
かった。ユニクロから学校へ帰る際、小学校前のくるみ橋の段差によ
り、前方に転倒する恐れがあり危険だと感じました。

○ 走行ログ・活動の記録



活動レポート

作成日:2025年6月3日

報告者:苔縄、川本、宇野、島田、上森、野崎

○ 活動種別（どちらかに○）

高齢者とのレクリエーション

WheeLog!

実施内容の概要

○ 本日用べき課題完了度

順調

やや遅延
あり

遅延

○ 取り組みのスケジュールと経験した内容、取り組み風景（写真添付）

目的地：関西福祉大学内

走行時間：47分

↓研究棟2階の学習ステーション入り口のドアが押し戸だったので、車椅子では入りづらかった。通路から教室へ続く床面はフラットでスムーズな移動ができた。



喫茶ライムの食券販売機の硬貨と↑お札を入れる位置が高く、やや使いづらいつと感じた。



↑円形広場から4号館へ入る入り口が他に比べて段差が高く、車椅子にかかる衝撃が大きい。転倒リスクが高いと感じた。



↑図書館では車椅子用の回覧机があり使用しやすい。

図書館の多目的トイレは他と比べてやや狭く車椅子の方向転換が難しかった



○ メモ・感想

全体的に段差が少なく通路も広めでスムーズに走行できた。教室はカーペットフロアが多く、走行時のストレスがなく安心感があった。また、広めの多目的トイレも多く使いやすいつと感じた。しかし、図書館のトイレはスライドドアが自動で閉まるため、開いたまま止めておくことができず、介助者がいない1人車椅子の場合は不便だと感じた。エレベーターは場所により車椅子が2台同時に入ることができる広さもあり、方向転換がスムーズにできた。

学内は、車椅子の学生も安心して学習できる環境が整っていると感じた。

○ 走行ログ・活動の記録



自走式

1475m 47分

活動レポート

作成日:2025年6月10日

報告者:苔縄、川本、宇野、島田、上森、野崎

○ 活動種別（どちらかに○）

高齢者とのレクリエーション

WheeLog!

実施内容の概要

○ 本日行うべき課題完了度

順調

やや遅延
あり

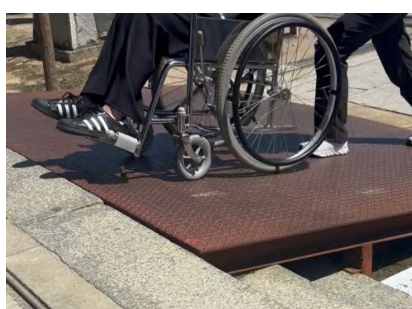
遅延

○ 取り組みのスケジュールと経験した内容、取り組み風景（写真添付）

目的地：専門学校→JR赤穂駅→息継ぎ井戸→赤穂城→大石神社→かん川本舗→専門学校

走行時間：125分

【大石神社】



大石神社門口は鉄製のスロープのため、降雨時滑りやすくなる可能性あり。上ってすぐに石の段差があるため、より足元を注意しないと危険。



【赤穂城】

←赤穂城門口はアーチ状の橋があり、上りも下りも介助者に負担となる。橋を渡り切ると砂利の急斜面が続く。

入口が広く床面段差もなく→フラット。店内通路も広く車椅子のままお茶を楽しめる。



【かん川本舗】

○ メモ・感想

お城通りを中心に走行。観光地として整備されている通りであるため、道幅は広く石畳ながら段差も少なく、快適に走行することができた。ただこの日は気温が31℃と暑く、地面の高さに近い車椅子利用者にはより暑さが強く感じられた。息継ぎ井戸と花岳寺の車椅子トイレは、公衆トイレでも清潔感が保たれており適切な維持管理がなされていることが印象的だった。大石神社と赤穂城には大きな段差はなかったものの、歴史的な空間であることから敷石のサイズや配置にばらつきがあり、車椅子の進行方向が意図せず逸れる場面もあった。やはり介助者の同伴で安心感と安全性が増すと考える。

○ 走行ログ・活動の記録



車椅子トイレ



ドアは重めの回転扉で車椅子の利用者は下がりながら開ける必要あり。また、ドアには左に横手すり、右は縦レバーハンドルが設置されていた。



大きな段差や凹凸地面やアーチがあり進みづらい。
トイレ前にはスロープがあるが、入口が少し狭い。
流し台のすぐそばにL字型、反対側に縦手すりあり。



トイレの中は広く
方向転換がしやすい。

活動レポート

作成日：2025年6月3日

報告者：長井、野田、瀧尻、角、桑田、三山

○ 活動種別（どちらかに○）

高齢者とのレクリエーション

WheeLog!

実施内容の概要

○ 本日用べき課題完了度

順調

やや遅延
あり

遅延

○ 取り組みのスケジュールと経験した内容、取り組み風景（写真添付）

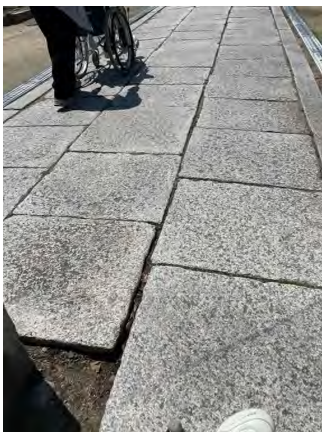
目的地：大石神社

走行時間：80分



入り口は車椅子でも入れるが
奥は階段だけだったので車椅子での参拝は難しい

石畳は凹凸があり、自走は可能だが引っかかる事が多い。



大石神社には行き方が2つあるが、
1つは橋を越えなければならない。
その橋は傾斜があるので、走行が大変だった。

もう一つの入り口も段差があるので、注意が必要。

○ メモ・感想

道の凹凸が激しい所があり、自走での走行は難しく感じた。

神社の中の道は車椅子が通れるような整備は行われていなかった。
お城通りは舗装されていて走行しやすかった。

WheeLogの記録が上手くいかなかった。次回はしっかり記録していきたい。

○ 走行ログ・活動の記録



活動レポート

作成日：2025年6月3日

報告者：長井、野田、瀧尻、角、桑田、三山

○ 活動種別（どちらかに○）

高齢者とのレクリエーション

WheelLog!

実施内容の概要

○ 本日用べき課題完了度

順調

やや遅延
あり

遅延

○ 取り組みのスケジュールと経験した内容、取り組み風景（写真添付）

目的地：学内スポット（図書館、学習ステーション、校友会館、食堂、音楽室）

走行時間：64分



障害者用トイレの様子。
自身で手すりを利用したり、手すりを上げ下げ出来る作りになっている。

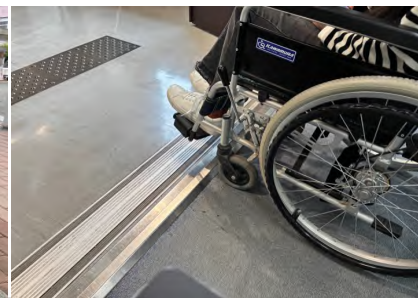
設備の高さにも配慮があり、車椅子利用者が扱いやすいものとなっている。



教室内の移動では、スペースが足りず挟まってしまう恐れのある個所も存在した。

学内に存在した段差の様子。

走行にはキャスターを上げることが必要となる。



○ メモ・感想

看護棟のエレベーターは一号館と比べ、広さがあったり開延長ボタンがあったりと利便性が高い事に気づいた。

広さに関しては、1号館が車椅子2台でかなり狭い状態であったが、看護棟は3台が入ってもまだ少し人が入る余裕があった。全体的に学内はバリアが少なく、せいぜいでもキャスター上げで対処できるほどしかない印象であった。ただ、教室や部屋に入る際にはどうしても椅子や机で埋められ、車椅子の幅ぴったりの通路しかない状況が多かった。

その為、手狭な印象を持つことが多かったり、容易に物や人にぶつかってしまう可能性が考えられた。

○ 走行ログ・活動の記録



活動レポート

作成日：2025年6月10日

報告者：長井、野田、瀧尻、角、桑田、三山

○ 活動種別（どちらかに○）

高齢者とのレクリエーション

WheelLog!

実施内容の概要

○ 本日行うべき課題完了度

順調

やや遅延
あり

遅延

○ 取り組みのスケジュールと経験した内容、取り組み風景（写真添付）

目的地：大学内食堂、売店

走行時間：30分



身長161cm男性と181cm男性で自販機に手を伸ばす様子。
車椅子走行時、身長が足りないと上段の商品を買えない。
下の写真の様に食堂内券売機でも快適性に差が見られた。



食堂食器返却口での様子。箸やスプーンの返却場所が高所にあり、身長によっては十分な高さに手を伸ばすことが出来ず食器を返却出来ない場合がある。



←
腋窩が車椅子の手すりにつっかえ、低所の商品に手が届かない様子。
売店では高所だけでなく低所にも困難が存在した。

○ メモ・感想

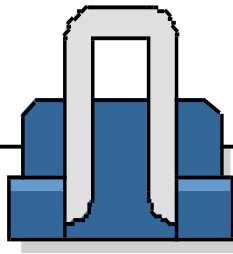
感想

車椅子利用者が扱える様な高さの机や配置物が良く見られる中、一般的な設置物である自販機の利用に一部困難がある事に気づいた。

また食器返却口に関しては全く届かない位置に返却箱が存在するなど、環境整備として徹底し切る事には難しい部分があるのではないだろうか。こうした事例から日常生活において、車椅子利用者が抱える健常者には見えにくい小さな困難が多く存在するだろう事が予想された。

○





あとかき

2025年度も昨年度に引き続きフィールドワークを主体とする活動を試みた。残念ながら雨天のため、地域での体験機会は少なかつたものの、車椅子に乗り“まち”に繰り出すといろいろな不便さを感じたことと思います。専門職として不便を地域課題として捉え、そのために『何ができるか』という問いに向き合う機会になったのではないのでしょうか。社会にある課題の一つを自分ごととして見つめる機会になれば幸いです。本取り組みがこれからの地域共生社会に向けた担い手育成の一助となれば幸いです。

最後になりましたが、宮前町いきいき百歳体操の皆様、今年もご協力いただきありがとうございました。

赤 堀 将 孝

車椅子街歩きや高齢者との交流を通じて、「思いやりの心」の重要性を深く学んだ。街歩きでは、介助する側とされる側の間で、同じ景色でも見え方や奥行き、距離感が全く異なることに気づかされた。この経験から、互いの立場を実際に体験することが、相互理解と思いやりを育む上で不可欠だと痛感した。また、いきいき百歳体操では、体に適切な負荷をかけることで筋力向上や転倒防止、認知症予防に繋がることを知った。高齢者の方々のお姿に感銘を受けた。以上から、自分自身の「当たり前」が必ずしも普遍的ではないということを再認識させてくれた。多様な視点を持ち、他者を思いやる心を大切にしていきたい。

鵜 鷹 明日美

施設や建物自体はバリアフリーだが、そこに至るまでの道のりには困難を感じる場面があった。例えば、歩道がなく車と接触しそうな道路、見通しの悪い交差点、アスファルトを上から重ねただけで凹凸のある道などである。特に見通しの悪い交差点では、安全確認に身体を乗り出さなければならず、危険だと感じた。

施設のバリアフリー化はもちろん重要だが、それだけでなく向かう道にも目を向ける必要を感じた。道は車椅子利用者に限らず、すべての人が日常的に使うものであり、安全であるべきだ。

取り組みを通して、日常の小さなことに気づく視点が得られたことは、私にとって貴重な経験となった。

三 山 美 織

2025年7月

作成・編集者一覧（2025年度）

関西福祉大学社会福祉学部
谷川ゼミ2回生

鵜	鷹	明日美
宇	野	彩花
大	西	菜央
川	本	萌乃
北	原	周弥
小	西	遙香
島	田	栞夏
瀧	尻	貫介
長	井	莉子
野	田	優月
藤	本	琴葉
三	宅	歩実
山	本	憧

社会福祉学部教授
社会福祉士 谷川和昭

はくほう会医療専門学校赤穂校
作業療法学科20期生

朝	倉	未海
上	森	さつき
角		鷹翔
金	谷	和奏
亀	井	光生
桑	田	唯杏
苔	縄	司
田	淵	真央
野	崎	梢
三	山	美織
山	下	晃一郎
吉	井	かのん

作業療法学科専任教員
作業療法士 赤堀将孝

協力

赤穂市宮前町いきいき百歳体操
いきいき宮前の皆様

The background of the entire page is a faded, grayscale image of a large clock tower with a spiral design on its face, and a building with a gabled roof to its left. The text is overlaid on this background.

はくほう会医療専門学校赤穂校
作業療法学科

×

関西福祉大学社会福祉学部
谷川ゼミ